

環境経営レポート

2018年版

活動期間：2018年1月～12月



発行日 2019年3月1日



新都田工場 太陽光パネル 発電設備出力49.5kW 2014年1月稼働

2018年実績
年間発電量： 55,332 kWh
年間温室効果ガス削減量： 29.5 t-CO2

※太陽光発電システム単位発電電力あたりのCO2排出量 533.5g-CO2/kWh

CONTENT

目次	1
1. 組織の概要	2
2. 実施体制図及び責務	3
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標及びその実績	5
5. 環境経営計画と活動結果	6~8
6. 取組結果とその評価	9~13
7. 環境関連法規制等の遵守状況	14
8. 環境教育、緊急時の対応訓練	15
9. 地域活動	16
10. 内部監査結果	17
11. 代表者による全体の評価と見直し、指示	17
12. 内部・外部コミュニケーション	18
13. 取組みの成果	18



浜松市の花 みかんの花

1.組織の概要



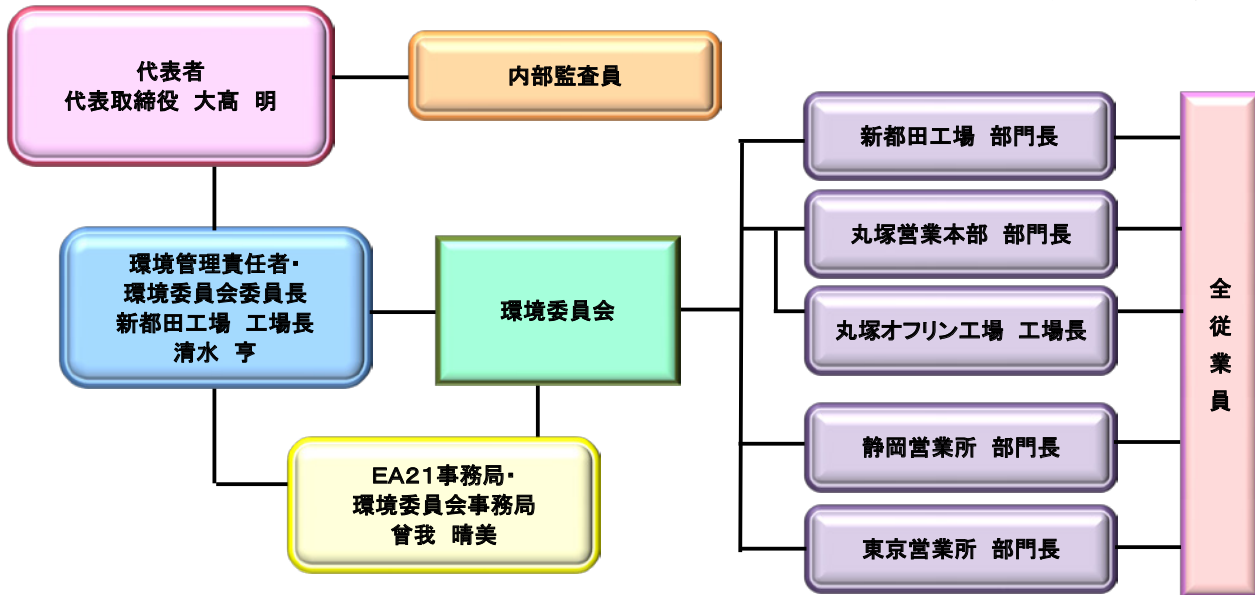
- 事業者名 杉山メディアサポート株式会社
- 代表者名 代表取締役 大高 明
- 事業所及び所在地
丸塚営業本部：〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町196-1
新都田工場：〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目10番2号
静岡営業所：〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号
東京営業所：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-18-9 ATビル6F
※ODPショップは2018年11月新都田工場に移転

【HP】 <http://www.sugiyama-ms.co.jp/>
- 設立 1948年4月
- 資本金 5,600万円
- 事業の内容 ・印刷、製本業 ・商業、工業デザイン企画設計 ・各種写真の撮影
・情報の収集、処理、加工、提供サービス ・看板の設計、製作
- 事業年度 2018年2月～2019年1月
(環境活動期間：2018年1月～12月)
- 事業の規模 総売上高：2,762百万円 (環境活動期間)
従業員数：169名
延床総面積：7,922㎡
- 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者：新都田工場長 清水 亨
担当者：EA21事務局 曾我 晴美
連絡先：TEL 053-484-1171
FAX 053-484-1170
- 認証・登録の対象組織活動
登録組織名：杉山メディアサポート株式会社
対象事業所：全事業所
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所、東京営業所
- 対象の活動 総合印刷業(企画・立案から印刷、加工、出荷、在庫管理まで)、
情報サービス加工業(DTP、データベース構築、WEBホームページ制作等) 等

エコアクション21ガイドライン2017年度版に基づき策定した
「環境経営システム」を基準とする代表者を中心とした全従業員による
環境保全活動
- 認証登録番号 0000047
- 認証・登録日 2004年11月26日

2.実施体制図及び責務

更新日：2018年11月7日



担当者	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境管理責任者の任命 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営目標、環境経営計画書、環境教育訓練計画書の承認 代表者による全体の評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認 内部監査員の任命
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境委員会の委員長 環境部門長の任命 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」結果取りまとめと報告 「環境関連法規等一覧表」の承認 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の確認 一般研修（部門長）や法規制等の教育訓練の実施 環境経営活動の取組み結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」の実施 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の策定 環境経営目標、環境経営計画、環境教育訓練に対する実績取りまとめと記録 「環境関連法規等一覧表」の作成及び最新版管理、遵守評価の実施 環境経営方針、環境経営目標達成のための手順を定め文書化 従業員に対する教育訓練の実施 環境関連の内外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、情報提供（事務所内掲示と地域事務局への送付） 環境活動通信作成、情報提供（事務所内掲示） 毎月末「EA21巡回」を実施
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境委員会の開催 環境経営システムに則り、運営における問題点等の報告と対策を協議する 環境保全活動の推進 事故および緊急事態への試行・訓練の実施と記録作成 定期的な巡回と指導
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営目標の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見と是正及び予防処置の実施 毎月末「環境活動取組み状況」のチェックの実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 内部環境監査の実施と報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3.環境経営方針

環境経営方針

基本方針

杉山メディアサポート株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、企業経営を推進してまいります。

行動指針

地球温暖化の防止・循環型社会の構築・生物多様性の保全など、持続可能な社会の実現に向けての環境問題に対する活動を印刷業という本業を通して、限りある資源の有効活用、廃棄物の削減及び環境汚染の防止などの環境活動を自主的・積極的に取組みます。
健全な職場環境を維持し、よりよい商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが重要だと考え、ここに「環境経営方針」を定め、従業員一丸となり継続的に環境活動に取り組んでまいります。

- 1 全従業員による活動**
環境委員会を中心とする体制を構築し、各自の役割と責任を定め全従業員による活動とします。
- 2 目標の設定と継続的な取組み**
環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期見直しにより環境保全の継続的改善を図ります。
- 3 環境配慮型製品のサービス推進**
環境に配慮した資材を使用しての製品づくりを顧客に提案・推進し、顧客の環境保全活動の支援に努めます。FSC®認証製品を推進し、顧客の受注拡大に努めます。
- 4 環境に配慮した企業活動の取組み**
環境影響が小さく、顧客に満足いただける安全で品質の高い商品・サービスを「One Stop, Total Support」します。
- 5 エネルギーに対する取組み**
投入エネルギーを削減し二酸化炭素排出量を削減します。
- 6 廃棄物に対する取組み**
省資源を重視した製品づくりと、資源の有効活用を促進するためリサイクル活動を推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。
- 7 環境関連法規制に対する取組み**
事業活動にかかる環境関連の法規制を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持します。
- 8 有害物質に対する取組み**
使用する有機溶剤等は環境負荷と健康障害の少ない物を選択し、使用量の削減と適正管理に努めます。
- 9 従業員による環境への取組み**
全従業員に対して環境教育訓練等を実施し、環境に対する意識を向上させ行動させます。地域活動や社会貢献活動に積極的に取組みます。
- 10 環境活動に関する情報の提供**
全従業員に対し環境経営方針を周知徹底するほか、ホームページ等を通じて当社の環境への取組みを地域社会に情報提供します。

2003年9月1日 制定 2018年1月7日 改定

代表取締役 大高 明

4. 環境経営目標及びその実績

項目	単位	基準値 2017年実績	2018年目標	2018年実績	評価	2019年目標	2020年目標
エネルギー使用量削減による 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,462,235 削減	1,389,123 5%	1,501,713 目標比 108.1%	未達成	1,374,501 6%	1,359,879 7%
省エネルギーの推進							
電力使用量	kWh	2,192,660 削減	2,083,027 5%	2,232,444 目標比 107.2%	未達成	2,061,100 6%	2,039,174 7%
LPGガス使用量	kg	34,567 削減	32,839 5%	33,259 目標比 101.3%	未達成	32,493 6%	32,147 7%
都市ガス使用量	Nm3	128,878 削減	127,589 1%	146,525 目標比 114.8%	未達成	126,300 2%	125,012 3%
ガソリン使用量	ℓ	25,708 削減	24,423 5%	24,536 目標比 100.5%	未達成	24,166 6%	23,908 7%
軽油使用量	ℓ	13,751 削減	13,063 5%	11,828 目標比 90.6%	達成	12,926 6%	12,788 7%
水資源使用量の削減							
上水使用量	m3	2,496 削減	2,371 5%	2,271 目標比 95.8%	達成	2,346 6%	2,321 7%
製品への環境配慮							
環境配慮型製品 製造量	kg	5,112.74 増加	5,624.01 10%	7,048.96 目標比 125.3%	達成	5,879.65 15%	6,135.29 20%
FSC®認証製品受注拡大							
FSC 認証製品 受注件数	件	22 増加	24 10%	27 目標比 112.5%	達成	26 20%	29 30%
省資源の推進							
印刷用紙に対する 予備紙使用量削減	%	10.5 減少	10.4 0.1	11.2 目標比 107.7%	未達成	10.3 0.2	10.2 0.3
コピー / 出力紙 使用量削減	枚	1,143,533 削減	1,109,227 3%	1,174,068 目標比 105.9%	未達成	1,097,792 4%	1,086,356 5%
産業廃棄物排出量の削減							
産業廃棄物排出量	t	1,174.15 削減	1,115.44 5%	1,237.83 目標比 111.0%	未達成	1,103.70 6%	1,091.96 7%
最終処分量	t	0.58 削減	0.57 2%	0.60 目標比 105.3%	未達成	0.56 3%	0.56 4%
リサイクル活動の推進							
有価物量	t	1,147.01 増加	1,150.45 0.3%	1,215.59 目標比 105.7%	達成	1,151.60 0.4%	1,152.75 0.5%
再資源化率	%	97.7 向上	98.0 0.3	98.2 目標比 100.2%	達成	98.1 0.4	98.2 0.5
化学物質使用量の削減と適正管理							
PRTR 法 第一種 化学物質量	kg	233.50 削減	228.83 2%	264.73 目標比 115.7%	未達成	226.50 3%	224.16 4%
総使用量に対する 第一種含有率	%	1.18 低下	1.17 0.01	1.19 目標比 101.7%	未達成	1.16 0.02	1.15 0.03



2016年二酸化炭素排出係数

丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー：0.442kg-CO2
 新都田工場 / 中部電力：0.48kg-CO2
 東京営業所 / 東京電力：0.474kg-CO2

5.環境経営計画と活動結果

活動評価：◎よくできた ○できた ×不十分・できなかった

項 目		対象部門・取組計画・取組内容・活動結果																								
省エネルギーの推進																										
エネルギー使用量削減による二酸化炭素排出量の削減																										
電力使用量	対象部門	全部門、 全従業員	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
									強化 月間																	
				年間																						
	取組内容・ 活動結果	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（冷房27℃、暖房22℃） ・デマンド監視装置によるピークカット ・空調機、エアコンのフィルター清掃 ・照明器具のLED化 ・パソコンの電源プランは省電プラン設定 ・トイレ便座の温度設定（夏季/電源OFF、冬季/低温設定）とタイマー化（ON/7:00、OFF/22:00） ・省エネ機器への更新 ・未使用フロア消灯、昼休み消灯 ・プルスイッチ型照明具の利用 ・コンプレッサーのエアー漏れ点検 ・窓へ遮光シート貼り付けや農業用シートの活用 ・丸塚オフリン工場照明器具更新検討 ・退勤時、パソコン・換気扇の電源OFF ・外灯のタイマー化 											○	×	○	×	◎	◎	○	◎	◎	×	○	×	◎	◎
	対象部門	オフセット課 ・ BF課	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
				●	●	●			●	●	●	●		●	●											
				年間																						
	取組内容・ 活動結果	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（冷房27℃、暖房20℃） ・空調機のフィルター清掃 ・高効率ガスヒートポンプ（GHP）への更新 											○	○	×											
	都市ガス使用量	対象部門	丸塚オフリン 工場	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
										強化 月間																
					年間																					
	取組内容・ 活動結果	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷乾燥機の点検・整備 ・印刷乾燥機の空気比低減 											○	◎												
	ガソリン使用量 ・ 軽油使用量	対象部門	営業課 ・ 物流課	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
										強化 月間																
				年間																						
取組内容・ 活動結果		<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ10の実践 ・効率の良い営業・納品ルートの設定（運転日報の活用） ・燃費向上を目的とする車両の整備 タイヤの空気圧、オイル交換 ・走行距離と燃料使用量のチェック ・適正な積載量 ・Web会議の活用 ・エコカーへの転換 											○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○						

5.環境経営計画と活動結果

活動評価：◎よくできた ○できた ×不十分・できなかった

項 目		対象部門・取組計画・取組内容・活動結果													
省エネルギーの推進															
水資源使用量の削減															
上水使用量	対象部門	印刷課 ・ 全従業員	取組計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容 ・ 活動結果	・湿し水循環ろ過装置による水交換回数の削減												◎	
		・手洗い時の節水啓発表示												◎	
		・女子トイレの擬音装置利用の徹底												◎	
		・節水こまの取付												○	
・水道蛇口パッキンの交換												×			
・雨水を利用した散水												○			
製品への環境配慮・FSC®認証製品受注拡大															
環境配慮型製品 製造量 ・ FSC認証製品 受注件数	対象部門	営業課	取組計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容 ・ 活動結果	・環境配慮型製品の推進												○	
・『ビジネスマッチングフェア』に参加しての製品PR活動												◎			
・販促ツールの作成												○			
省資源の推進															
印刷用紙に対する予備 紙使用量削減 ・ コピー/出力紙 使用量削減	対象部門	全部門、 全従業員	取組計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容 ・ 活動結果	・予備紙は最低数量とする												×	
		・刷り出し損紙の再利用												◎	
		・ペーパーレスに努める												○	
		・コピー/出力の縮小・両面・集約機能活用												◎	
・電子メール、掲示板、閲覧利用												◎			
・ミスコピー防止のためコピー機使用後は設定をリセット												◎			
・保管書類のPDF化												○			
化学物質使用量の削減と適正管理															
PRTR法第一種 化学物質 ・ 総使用量に対する 第一種含有率	対象部門	印刷課 ・ プリプレス課	取組計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容 ・ 活動結果	・SDSの管理												◎	
		・化学物質リスクアセスメント実施												○	
		・溶剤の化学物質把握												◎	
		・洗浄剤の代替品検討 有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替												◎	
		・VOC警報器の活用												◎	
		・印刷機自動洗浄装置の導入												○	
・湿し水IPAL化												◎			
・製版フィルムレス（CTP）化												◎			

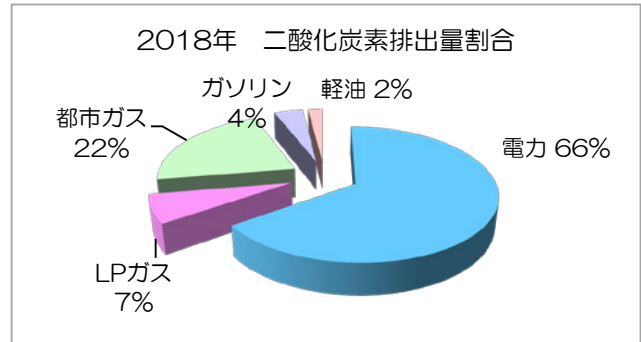
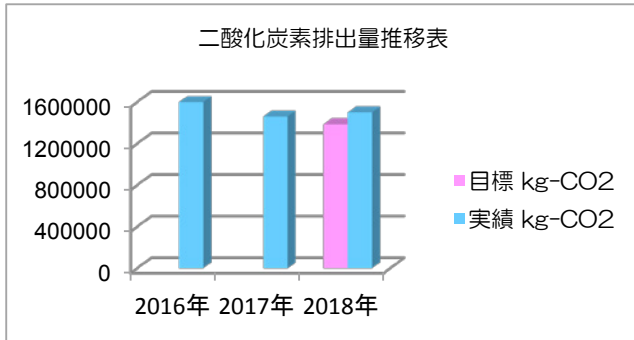
5.環境経営計画と活動結果

活動評価：◎よくできた ○できた ×不十分・できなかった

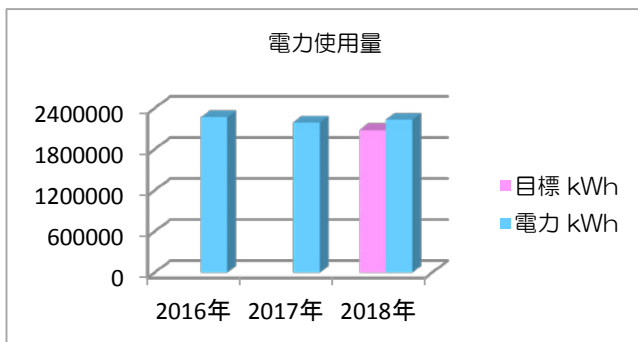
項 目		対象部門・取組計画・取組内容・活動結果													
産業廃棄物排出量の削減 ・ リサイクル活動の推進															
産業廃棄物排出量 最終処分量 ・ 有価物量 ・ 再資源化率	対象部門	全部門、 全従業員	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							分別 指導		強化 月間				強化 月間		年間
		取組内容 ・ 活動結果	・印刷予備紙率の低減（予備紙は最低数量とする）											×	
			・印刷準備紙は使用済みの準備紙利用											◎	
			・ミスを無くし、刷り直しによる廃棄物の削減											○	
			・廃棄物の分別、3Rの実施											◎	
			・廃棄物の分別指導											◎	
			・廃棄物の分別項目と保管場所の表示											◎	
			・「静岡県産廃3Rキャンペーン」への参加											◎	
			・印刷準備紙の裏面をコピー用紙に再利用											◎	
	・梱包資材の再利用											◎			
	・封筒の再利用（作業指示書袋・メール便袋）											◎			
	・廃棄物倉庫の改修											◎			
地域活動・社会貢献活動															
会社周辺清掃活動	対象部門	新都田工場	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						○	●	○	○ 環境 月間			●	●		
	取組内容	・新都田工場周辺清掃年6回実施											◎ 4,9,10月実施		
地域清掃活動	対象部門	新都田工場	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					●				● 環境 月間				●		
	取組内容	・「小さな親切」運動“クリーン作戦”年2回参加											◎ 2,6月参加		
		・浜松河川国道事務所“クリーン作戦”年1回参加											◎ 10月参加		
地域安全活動	対象部門	安全衛生 委員会	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							○					●			
	取組内容	・交通安全週間“旗振り”年2回実施											○ 9月実施		
子供の未来育成活動	対象部門	全部門、 全従業員	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容	・エコキャップ運動実施											◎ 9,113個送付		
グラウンド・ワーク 活動への協力	対象部門	新都田工場	取組 計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
															年間
	取組内容	・製紙会社「割り箸リサイクル活動」への協力											◎ 5kg送付		

6.取組結果とその評価

項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価/1,000枚通し枚数	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,389,123 5%	1,501,713 目標比 108.1%	未達成	2017基準年 3.52	2018年実績 3.65
次年度の取組	電力及び都市ガス使用量は生産高（通し枚数）に影響されるものであるが、電力使用量は二酸化炭素排出量割合が66%を占めるため、電力使用量削減に向け全従業員で取組む必要がある。					



省エネルギーの推進						
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価/1,000枚通し枚数	
電力使用量	kWh	2,083,027 5%	2,232,444 目標比 107.2%	未達成	2017基準年 5.00	2018年実績 5.42
次年度の取組	取組継続と強化 電力使用量は生産高（通し枚数）に影響されるものであるが、工場別で使用状況を確認すると、新都田工場では生産高は基準年比95.6%、電力使用量も95.0%であるため目標を達成しているが、丸塚オプリン工場の生産高は基準年比106.3%に対し、電力使用量が107.3%と増加したため目標を達成することが出来なかった。次年度は毎月発行している「環境活動通信」の電力使用量欄を改訂して前年同月に加え前月・前々月の使用量欄を追加することで、各部門で使用量について意識を高めてもらうことにする。					



EA21-GP-F8C No.351
環境活動通信
2019. 3.11

●2月 環境実用物資使用量 前年同月対比 (電気当月使用量掲載/都田・丸塚・静岡)

項目	都田	丸塚	静岡	東京
2月 (kWh)	61,931	96,213	488	1,000
前年同月	71,826	106,692	617	1,121
差	-9,895	-10,479	-29	-121
%	86.2	90.2	94.4	89.2
1月	66,467	92,545	384	1,024
12月	80,321	114,001	356	769

項目	都田	丸塚	静岡	東京
2月 (m3)	174			
前年同月				
差				
%				
1月	232		4	29
12月	161			

項目	都田	丸塚	静岡	東京
2月 (m3)	2,209	11,610		2,844.1
前年同月	2,291	13,393		3,134.6
差	-1,082	-1,843		-588.5
%	95.9	86.2		81.2
1月	1,164	11,401		2,371.1
12月	972	13,820		2,822.9

項目	都田	丸塚
2月 電力使用量 (kWh)	61,931	96,213
通し枚数 (枚)	13,831,999	11,136,988
差	4.6	6.6
前年同月	71,800枚	4.4
1月	71,800枚	4.7
12月	71,800枚	8.0

※電気プラグは抜いておく！
※不要な作業はスイッチOFF！

※前年対比LSP 電力-通し枚数比較(都田・丸塚)
※前年対比DOWN 電力-通し枚数比較(静岡・東京)・ガス(都田・丸塚)・車庫燃料



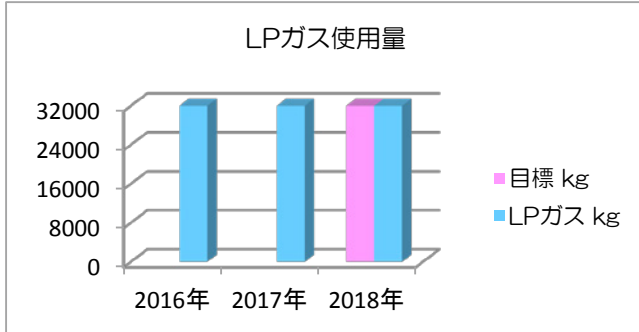
節電啓発表示
未使用フロアの消灯、昼休み消灯



空調設定温度の啓発表示
エアコンフィルター清掃表

改訂した「環境活動通信」
「環境活動通信」は毎月1回発行して
掲示とメール送信で使用量について各部署で
検討してもらう

項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価／空調機運転時間	
LPガス使用量	kg	32,839 5%	33,259 目標比 101.3%	未達成	2017基準年 20,097.09	2018年実績 19,426.99
次年度の取組	取組継続 BF課のガス空調機2台を高効率ガス空調機に改修したが、冬季の低温とガス空調機には加湿機能がついているため、負荷がかかることなどが考えられる。印刷課では、紙粉や印刷時のブロッキング防止（裏移り、静電気）パウダーによるフィルター目詰まりが発生しやすいため定期的に清掃を実施して空調機の稼働効率をよくする必要がある。					

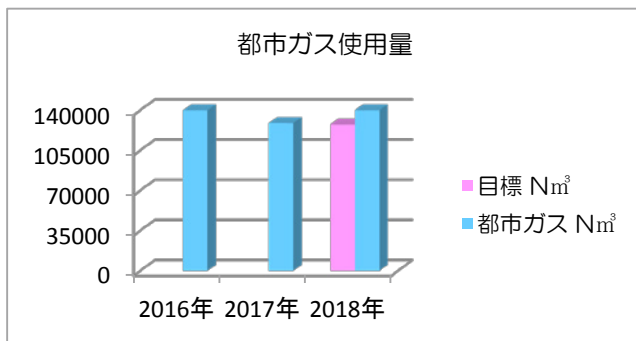


空調機フィルター清掃

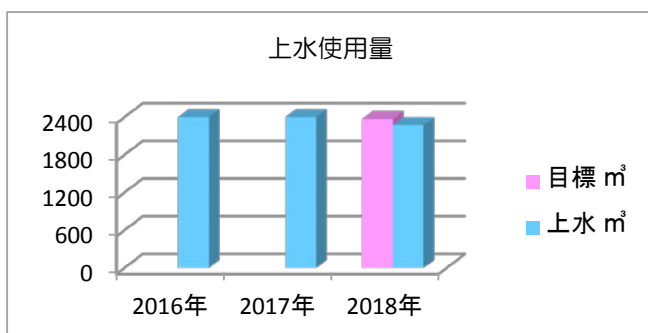


空調設定温度の啓発表示

項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価／1,000枚通し枚数	
都市ガス使用量	Nm ³	127,589 1%	146,525 目標比 114.8%	未達成	2017基準年 0.99	2018年実績 1.06
次年度の取組	取組継続と強化 都市ガスは丸塚オフリン工場の印刷工程時の乾燥燃料であるため、生産高（通し枚数）が基準年比106.3%と増加したことによるものだが、増加率が高いため過剰燃料使用等が考えられる。次年度は空気比低減による燃料使用量の削減と、毎月発行している「環境活動通信」に生産高と都市ガス使用量割合を掲載して意識改革に努めていく。					



水資源使用量の削減						
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価／従業員数	
上水使用量	m ³	2,371 5%	2,271 目標比 95.8%	達成	2017基準年 14,857	2018年実績 13,438
次年度の取組	取組継続 上水は印刷機湿し水に使用するより生活用水の利用率が高いため、啓発掲示をして従業員一人ひとりの節水意識を高めていく。新都田工場では節水こま取付箇所を増やしていく。					



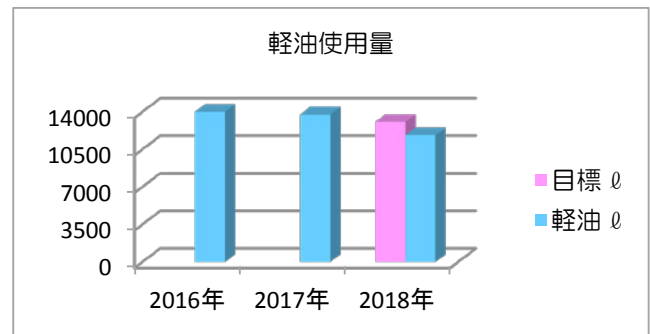
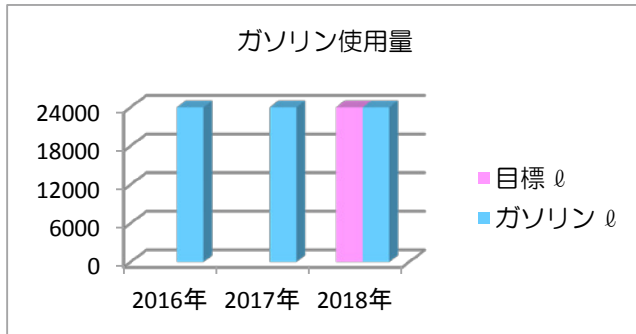
湿し水循環装置と
高性能フィルターろ過装置



節水啓発表示

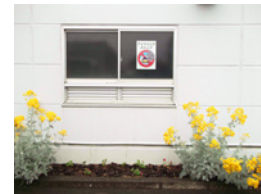
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価／所有台数	
ガソリン使用量	ℓ	24,423 5%	24,536 目標比 100.5%	未達成	2017基準年 1,117.74	2018年実績 981.44
軽油使用量	ℓ	13,063 5%	11,828 目標比 90.6%	達成	2017基準年 2,750.20	2018年実績 2,365.60

次年度の取組
取組継続
エコカーへの更新は、基準年保有車両28台（内ハイブリット軽車両8台）と比較すると、保有車両2台増加（内ハイブリット軽車両8台）となったため、ガソリン使用量が増加してしまいましたが、環境効率指標評価は減少している。次年度もリースUP等車両入替時にエコカーへの更新をしていく。ディーゼル車は台数に変更がないものの使用量が減少したため継続取組とする。



営業部・物流部には毎月末「走行顧慮・給油票」を提出させ、燃費を意識向上させる

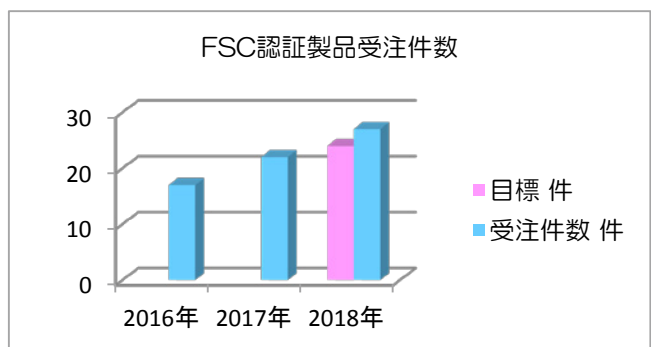
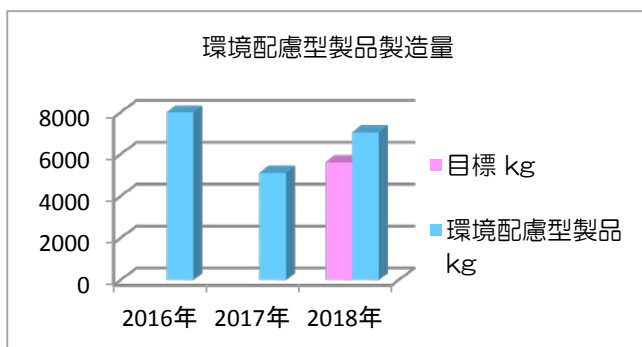
工場敷地内はアイドリングストップ表示



製品への環境配慮・FSC®認証製品受注拡大

項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	対象
環境配慮型製品製造	kg	5,624.01 10%	7,048.96 目標比 125.3%	達成	FSC®認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」、GP認定資材を使用したの製品の製造
FSC認証製品受注件数	件	24 10%	27 目標比 112.5%	達成	FSC®認証紙を使い、FSCロゴマークを印刷した製品

次年度の取組
取組継続と強化
展示会PRにより今までFSC認証紙を使用していなかった顧客の受注を獲得できた。また、森の町内会がFSC認証紙を取り扱うようになり受注拡大に繋がった。今後は印刷用紙の値上げや古紙不足によるリサイクルペーパーからパーシンプーパーへと需要が変わるため、顧客の環境への取組みとして、FSC認証紙の需要拡大が見込まれる。次年度はさらなる営業推進のため販促ツールを作成し受注拡大に尽力していく。

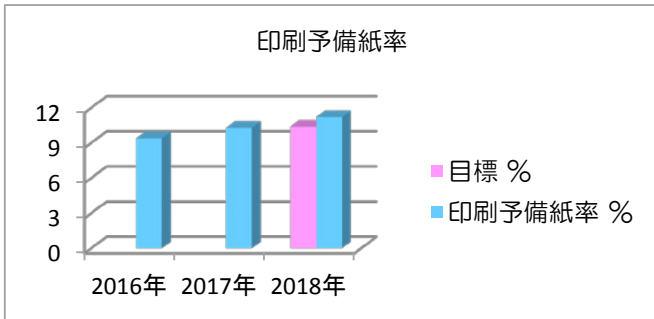


『ビジネスマッチングフェア2018』
2018年7月11日 アクトシティ浜松

環境配慮型製品

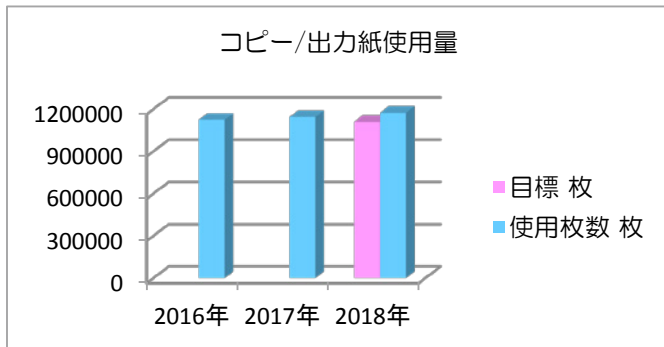


省資源の推進					
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	対象
印刷用紙に対する予備紙使用量削減	%	10.4 0.1	11.2 目標比 107.7%	未達成	印刷刷り出し損紙、加工・製本用損紙、見本・納本用紙
次年度の取組	取組継続と強化 予備紙を減らしていくことが省資源となり、印刷用紙の値上がりに伴う経費削減に繋がっていくため、1受注につき50~100枚を目標に減らしていく。				



印刷予備紙を減らし、刷り出し損紙は繰り返し使用

項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	対象
コピー/出力紙使用量削減	枚	1,109,227 3%	1,174,068 目標比 105.9%	未達成	コピー、パソコンからの出力紙
次年度の取組	取組継続と強化 毎月発行している「環境活動通信」のコピー・出力紙使用枚数欄を、前年同月に加え前月・前々月の使用枚数欄を追記することで、各部門で使用枚数について意識を高めてもらうことにする。				

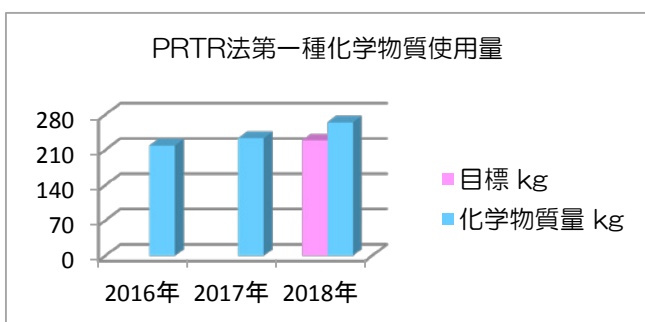


コピー用紙は裏紙使用



印刷前にプレビュー確認表示

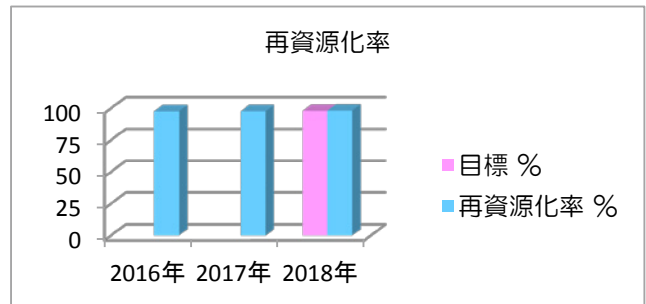
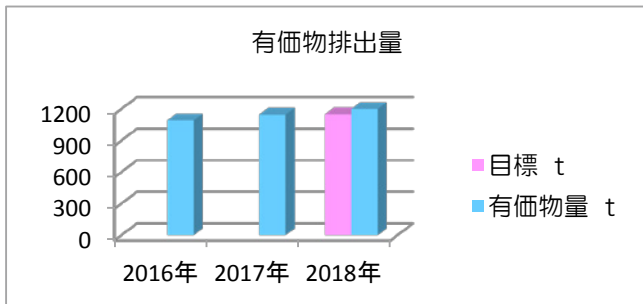
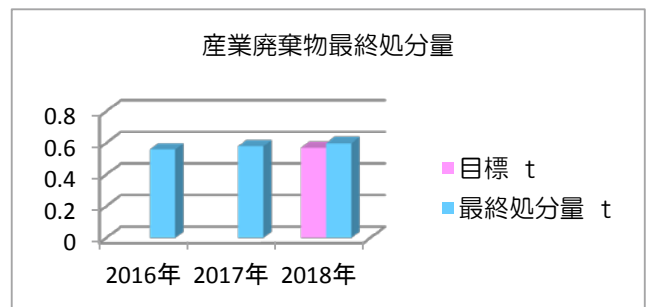
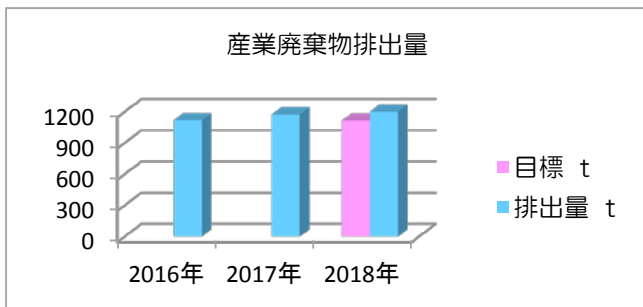
化学物質使用量の削減と適正管理						
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価/1,000枚通し枚数	
PRTR法第一種化学物質量	kg	228.83 2%	264.73 目標比 115.7%	未達成	2017基準年 0.00560	2018年実績 0.00064
総使用量に対する第一種含有率	%	1.17 0.01	1.19 目標比 101.7%	未達成	対象 洗浄剤、現像液等	
次年度の取組	取組継続 化学物質リスクアセスメントを実施し、より安全性の高い代替品の購入を推進した。主な使用用途は機械洗浄のための払拭作業のため、1回の使用量を作業者が留意することで年間を通しての削減に繋がっていく。次年度は刷版の無処理版を導入していく方針である。これにより、現像液が不要となり廃液もなくなるため、化学物質使用量と産業廃棄物排出量を削減できると期待す					



使用溶剤の最新SDSと取扱注意事項掲示

産業廃棄物排出量排出量の削減・リサイクル活動の推進						
項目	単位	2018年目標	2018年実績	評価	環境効率指標評価/1,000枚通し枚数	
産業廃棄物排出量	t	1,115.44 5%	1,237.83 目標比 111.0%	未達成	2017基準年	2018年実績
最終処分量	t	0.57 2%	0.60 目標比 105.3%	未達成	0.00282	0.00301
有価物量	t	1,150.45 0.3%	1,215.59 目標比 105.7%	達成	2017基準年	2018年実績
再資源化率	%	98.0 0.3	98.2 目標比 100.2%	達成	0.00276	0.00295

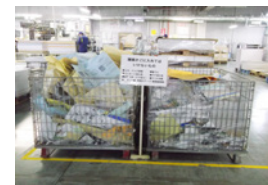
次年度の取組
取組継続
産業廃棄物排出量は増えたが新都田工場の廃棄物保管倉庫を改修したことにより、従業員の分別意識が高まり再資源化率を向上させることができた。次年度も必要に応じて分別指導をしていく。



新都田工場廃棄物保管倉庫2018年7月改修



プレート表示で分別を明確化



処分する紙を再分別

■ブルーフ校正■ 当社は、オフセット印刷機による本紙を使用した本機校正に替わるブルーフ校正を推奨しています。

【お客様のメリット】

低コスト

本機校正にかかる刷り出し用紙・インキ・印刷版等を使用しないため、コストを抑えられます

短納期

校正を速く見たいという要望にお応えできます



【当社のメリット】

省資源

本機校正にかかる刷り出し用紙・インキ・印刷版等を使用しないため、資源の削減に繋がります

廃棄物削減

本機校正にかかる刷り出し用紙・インキ・印刷版等を使用しないため、廃棄物発生量を抑えることができます

7. 環境関連法規制等の遵守状況

遵守評価：◎遵守できている ○一部遵守できていない ×遵守不十分・遵守できていない

※対象法規を一部省略

法令・条例	要求事項	該当施設・該当項目等	義務	遵守状況
静岡県環境基本条例	第6条	公害の防止、自然環境保全、廃棄物適正処理	事業者の責務	遵守 ◎
浜松市環境基本条例	第3条	公害の防止、環境負荷への低減	事業者の責務	遵守 ◎
静岡県生活環境保全条例	第3条	環境マネジメントシステムを導入し、環境への負荷の低減	事業者の責務	遵守 ◎
騒音規制法	第5条	特定施設規制基準	基準値：第4種区域	遵守 ◎年2回測定
静岡県生活環境保全条例	第6条	特定施設の届出	印刷機械	届出 2010/8/26
振動規制法	第5条	特定施設規制基準	基準値：第2種区域の2	遵守 ◎年2回測定
静岡県生活環境保全条例	第6条	特定施設の届出	印刷機械	届出 1996/11/1
廃棄物処理法	第3条	廃棄物の適正処理、廃棄物の減量	事業者の責務	遵守 ◎
浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第12条	委託基準	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	遵守 ◎
		保管基準	表示、飛散・浸透防止	遵守 ◎
		処理基準	収集運搬・処分業者委託契約	遵守 ◎
		実地確認	優良認定事業者は処理状況の確認	記録 ◎
		管理責任者の届出	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	届出 2017/8/1
		管理票交付、保管	電子マニフェスト制度利用	記録 ◎
		管理票交付等状況報告書	一部紙マニフェスト	報告 ◎2017/5/9
水質汚濁防止法	第5条	特定施設の届出	現像機	届出 ◎2018/5/31
		有害物質使用特定施設	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	届出 ◎2018/5/31
	第12条 第14条	構造基準	定期目視点検 1回/年	記録 ◎2018/5/22
		排出規制措置、排出状況把握、汚濁防止措置		遵守 ◎
下水道法	第12条	特定施設の届出	現像機	届出 ◎2018/6/22
		特定事業場排除制限	基準値：pH5を超え11未満	遵守 ◎
		水質測定と記録	pH・温度 1回/日	記録 ◎
土壌汚染対策法	第4条	土地の形質の変更届出	3,000㎡以上の土地	届出 変更なし
大気汚染防止法	第17条	VOC発生抑制	事業者の責務	遵守 ◎
悪臭防止法 浜松市悪臭規制	第7条	規制基準 1・2・3号基準	対象：全ての工場、事業場 規制地域：浜松市内全域	遵守 ◎
フロン排出抑制法	第5条	使用するフロン類の適正管理	第一種特定製品：業務用空調機器、チラー等	遵守 ◎
	第16条	管理者判断基準		遵守 ◎
		機器の適切な設置、適正使用環境の維持・確保		記録 03・6・9月実施
		簡易点検 1回/3ヶ月		記録 ◎2018/2/27
		定期点検 1回/3年	対象：7.5kW以上50KW未満の空調機器	記録 ◎
第19条	算定漏えい量報告	1年度内1,000 t -CO2以上	報告 規定量以下	
化管法	第4条	第一種及び第二種指定化学物質の使用と管理	事業者の責務	遵守 ◎
	第5条	第一種指定化学物質取扱量の把握	年間1t以上	報告 規定量以下
自動車リサイクル法	第5条	長期間利用と使用済みの抑制と再資源化促進	所有車両	遵守 ◎
	第8条	使用済み自動車の適正引渡		遵守 ◎

【遵守状況評価結果並びに違反、訴訟等の有無】

遵守評価結果：「環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表」で確認した結果、問題がないことを確認しました。

違反、訴訟：地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

毎月末5Sパトロールを実施して遵守確認

8.環境教育、緊急時の対応訓練

環境教育

環境活動の中心となる環境委員会は、環境活動の進捗状況の話し合いや法改正内容の公開の場として毎月1回実施しています。

期の初めには全従業員が参加する方針発表会が開催され、各部署の目標を掲げます。環境部門はEA21事務局が実績報告と次年度の目標を発表し、主な取組項目と活動に関する依頼をします。また、新入社員には環境への取組の必要性や分別指導、会社周辺清掃を実施しています。

◆方針発表会◆



◆新入社員研修◆



◆環境（安全衛生）委員会◆



緊急時の対応訓練

実施日 / 2018年9月27日

実施場所 / 新都田工場

実施内容 / ①火災発生を想定した避難訓練
②消火器訓練

雨が降っていたため、急遽避難場所を変更しての実施となりました。1階機械室からの出火を想定し、火災を知らせる構内放送により避難開始。各部署点呼をとり、消防隊長に報告終了をした時点の所要時間は1分52秒。前回は上回る結果となりましたが班別ブラカードが片面だけの表示であったため班員がわかりづらかった。その結果、訓練手順書を改訂しました。



◆避難訓練◆



◆消防隊員による消火器の使い方指導◆



◆消火訓練◆



実施日 / 2018年9月18日

実施場所 / 新都田工場

実施内容 / 廃液流出対応訓練

現像機作業による廃液ポリタンク取替時にポリタンクが倒れ、廃液が流出したと想定して、訓練手順書に従い実施しました。また、廃液収集運搬業者にも協力を依頼し訓練を実施しました。この結果、訓練手順書に問題がないことを確認しました。

◆廃液流出対応訓練◆



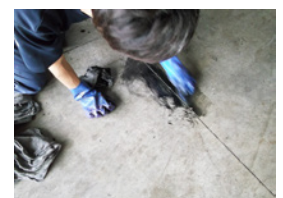
実施日 / 2018年10月29日

実施場所 / 新都田工場

実施内容 / 廃油（廃インキ）流出対応訓練

廃油（廃インキ）を工場内から廃棄物保管場所への移動中にドラム缶が倒れ、廃油が流出したと想定して、訓練手順書に従い実施しました。この結果、訓練手順書に問題がないことを確認しました。

◆廃油（インキ）流出対応訓練◆



9.地域活動

地域清掃活動

新都田工場では工場周辺清掃を年6回実施しています。この活動は2006年から始め早13年が経過しました。活動内容は、歩道や近隣神社のごみ拾いや草取りを実施しています。

◆会社周辺清掃◆



静岡県「小さな親切」クリーン作戦に年2回参加しています。この活動は事務局の静岡銀行浜北支部様からお声掛けをいただき、2月には部署ごとに4名程度、6月は新入社員が参加しています。

2018年2月17日 浜北文化センター周辺清掃
6月 2日 天竜川中瀬緑地内清掃

◆静岡県「小さな親切」運動◆



浜松河川国道事務所様主催のクリーン作戦に参加しています。

2018年10月28日 国道1号線橋梁下付近清掃

◆天竜川クリーン作戦◆



地域安全活動

春・秋の全国交通安全運動週間の朝、安全衛生委員による交通安全のぼり旗振りを実施しています。

この活動を通して、地域の安全を守り、従業員の通勤時の事故ゼロを目指しています。

近年、この地点での車同士の事故と、従業員の通勤時の事故は減少傾向にあります。

2018年 9月28日 秋の全国交通安全運動週間

◆交通安全旗振り◆



子供の未来育成活動

- ・2013年活動開始
- ・累計個数 84,712個
- ・ポリオワクチン 98.7人分
- ・エコキャップ焼却時のCO2発生抑制量累計 6,615.32kg-CO2

◆エコキャップ運動◆



グラウンド・ワーク活動への協力

- ・2017年活動開始
- ・累計リサイクル量 5kg

◆割り箸リサイクル活動



10. 内部監査結果

- ：問題点なし EA21 要求事項や自社が決めたルールを満たしている
 △：軽微な問題点 EA21 要求事項や自社が決めたルールが、一部に改善、又は努力を要する事項がある
 ×：重大な問題点 EA21 要求事項や自社が決めたルールが、完全に欠落している。
 あるいは、システム又は手順が完全に機能していない

監査実施日 2019年1月25日

内部監査員 田邊

実施項目	総合評価	
取組みの対象組織・活動の明確化	○	ODP移転情報など最新なものになっている
環境経営方針の策定	○	掲示やホームページで全従業員に周知されている
環境への負荷と環境への取組み状況の把握及び評価	○	環境負荷物質使用量の把握と評価がされている
環境関連法規などの取りまとめ	○	環境関連法規一覧は最新のものとなっている
環境経営目標及び環境経営計画の策定	○	環境活動経営方針に沿った目標と計画である
実施体制の構築	○	実施体制と役割が明確にされている
教育・訓練の実施	○	定期的に実施されている記録を確認できた
環境コミュニケーションの実施	○	外部からの苦情等がなかったことを確認した
実施及び運用	○	手順書が作成されていて必要に応じて改訂がされていた
環境上の緊急事態への準備及び対応	○	手順書と実施記録を確認した
文書類の作成・管理	○	文書類を確認した
取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防	○	環境経営目標の達成状況と評価が四半期ごとに実施されている
現場観察	○	廃棄物保管場所、有機溶剤保管庫に問題はなかった。実施確認記録簿も確認できた
今回監査の是正事項	問題点/処置票の作成の必要性	必要なし
今回監査の講評	環境経営システムの運営に問題はありませんでした	

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

事項	報告内容	代表者の評価
環境経営目標の達成状況、並びに環境経営計画の実施状況	生産高と比較して環境負荷物質使用量は目標を達成することができませんでした	環境負荷物質使用量を削減することは、環境面だけではなく経費削減となり、会社経営に関わってくるため、全従業員が意識を高めて取り組む必要がある
環境法規制等に対する遵守状況、並びに定期確認結果	違反、訴訟等はありませんでした。専門業者による水質調査や産業廃棄物廃酸・廃アルカリ調査は年1回実施義務があるため継続して実施していきます	継続して実施してください
前回指示事項への取組結果	指示がありました基準年変更と無理の無い削減率を設定しましたが、目標を達成することができませんでした	達成できなかった項目は、更に削減比率を下げ、目標を設定してください

変更事項	変更内容	
環境経営方針	■変更なし □変更あり	
環境経営目標	□変更なし ■変更あり	・削減比率を下げる ・FSC認証製品受注拡大を強化する

総評	環境面から考えると、営業部では営業車両の燃料代を減らすことで環境配慮と経費削減に繋がる。製造部では製造原価を1%下げると1,800万円のコスト削減に繋がる。特に水道光熱費や印刷予備紙を減らすことが会社経営に影響が大きい。今年度は目標を達成することができなかった項目が多かったが、次年度は効率の良い仕事をして無駄を無くすよう協力して取組みましょう。
----	---

1.2.内部・外部コミュニケーション

■内部コミュニケーション■

社内掲示板



「環境活動通信」を毎月1回発行
事業所別の環境負荷物質使用量とコピー使用量・予備紙使用量や
産業廃棄物排出量、エコドライブなどを掲載

来客フロア
環境経営レポート掲示

■外部コミュニケーション■



ホームページ掲載

1.3.取組みの成果



エコアクション21

当社の長年にわたるエコアクション21と環境への取組みを評価していただき、
2015年「認証・登録10年継続記念」表彰を受け、感謝状と記念品を頂きました



環境優良工場表彰

(一社)日本印刷産業連合会主催

- 2011年 第10回 「日本印刷産業連合会奨励賞」受賞
- 2014年 第13回 「日本印刷産業連合会特別賞」受賞
- 2015年 第14回 「日本印刷産業連合会会長賞」受賞
- 2016年 第15回 「経済産業省商務情報政策局長賞」受賞



浜松市トップランナー特別賞

浜松市主催

2015年浜松市「新エネ・省エネ対策トップランナー審査員特別賞」受賞



ふじのくにエコチャレンジ

静岡県地球温暖化防止活動推進センター主催

- 2017年「ふじのくにエコチャレンジTRY・事業所部門審査員特別賞」受賞
- 2013年「ふじのくにエコチャレンジCSR・エコオフィス部門優秀賞」受賞





エコアクション21

2004年11月26日認証登録

持続可能な社会のために環境への取組みを行っています



GREEN PRINTING JFPI

F-B10044

都田工場

2007年10月5日認定登録

環境に配慮した印刷製品をご提供します



責任ある森林管理
のマーク

2008年5月21日認証登録

「森を守るマーク」 FSC®認証製品づくりをお手伝いします



P-00050

2015年9月28日認定登録

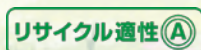
安全で信頼のおける製品とサービスをご提供します



未来のために、いま選ぼう。

2016年8月29日賛同登録

地球温暖化対策に努めるため「COOL CHOICE」に賛同しています



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

この印刷物の資材は全てリサイクル対応型資材を使い、環境に配慮した
グリーンプリンティング認定工場で印刷しています